

公開・非公開の別

公開 部分公開

非公開

令和5年度第4回浜松市介護保険運営協議会 会議録

1 開催日時 令和5年10月23日(月)午後7時から午後8時まで

2 開催場所 浜松市役所 本館8階 第3委員会室

3 出席状況

(1) 浜松市介護保険運営協議会委員(50音順)

出席 8名 磯部智明委員 稲垣佐登史委員 小野宏志委員
杉山晴康委員 鈴木謙市委員 鈴木隆之委員
山田紀代美委員 弓桁智浩委員

(2) 事務局

介護保険課 大村貴弘課長 鈴木真弓課長補佐 中澤学主幹 伊藤宏樹副主幹
寺田達弘副主幹 前和恭副主幹 山下悦代副主幹
高齢者福祉課 亀田岳史課長 鈴木博担当課長 大石尚課長補佐

4 傍聴者 1名

5 議事内容

(1) はままつ友愛の高齢者プラン(案)について

(2) はままつ友愛の高齢者プラン(案)のパブリック・コメントの実施について

6 会議録作成者 介護保険課 総務・給付グループ 近藤

7 記録の方法 発言者の要点記録

録音の有無 有・ 無

8 会議記録

1 開会

2 議事

(1) はままつ友愛の高齢者プラン(案)について

(会長)

議事 1 点目、「はままつ友愛の高齢者プラン(案)について」事務局から説明願いたい。

<事務局から資料 1 について説明。>

(会長)

ただいま事務局から説明があったが、ご意見、ご質問等があれば発言を願いたい。

(A 委員)

- ・地域リハビリテーションについてもっと具体的な事業の内容について記載すべきではないのか。
- ・認知症サポート医やかかりつけ医として頑張っている先生もおられる。また外来診療、かかりつけ医から介護は始まっていくものであり、そうした内容の記載を充実させることで、より先進的な高齢者プランにつながるように感じる。
- ・少し、今回のプランとは内容がズレるかもしれないが、在宅医療について、今後、高齢者が増加していく中で、高齢者と介護の視点よりコロナの対応も含めて、急変時における高齢者の緊急搬送に関する記載があってもよいのではないのか。

(事務局)

プランに具体的な詳細まで記載していくのは難しい部分もあるが、検討していく。

(B 委員)

P39 の (3) の記載内容では盛り込みが足りないのか、A 委員に確認したい。

(A 委員)

地域包括支援センターとリハビリテーションサポート医との連携の問題等について記載の検討をお願いしたい。

(事務局)

記載については、検討させていただきたい。

(C委員)

65 ページに日常生活圏域の記載があるが、自分がどこの地区にいるのかが分からない。記載内容の充実について検討をお願いしたい。

(事務局)

空いているスペースを活用し、記載については検討を行う。

(A委員)

12 ページに特養のことは書いてあったが、介護付き有料老人ホームに関することは、書かれていないように思うがいかがか。

(事務局)

12 ページには、現時点では介護付き有料老人ホームに関する記載はしていない。整備状況等の記載については、再検討を行いたい。

(A委員)

- ・ 13 ページの表は、特養の数値であり、介護保険制度全体のことを考えると、有料老人ホームなどについての記載もあった方がいいように感じる。
- ・ 特養でも空床の施設があり、介護施設の中には赤字となってしまうところもあるが、その実態について市は把握していると考えてよいか。
- ・ 物価高騰の影響も受けて、どこも経営は厳しい。それに対する対応も必要なのではないかと思う。
- ・ グループホームの整備を進めると説明があったが、空床の施設もある中で、事業所の運営面からは負担になってしまう可能性もあるのではないか。

(事務局)

- ・ 介護事業者の運営状況を考慮して、グループホームの整備計画を立てているわけではなく、利用者の需要に対し、サービス供給が不足しないよう考えて整備数を見込んでいる。
- ・ 市としては現状、臨時での対応としており、基本的には報酬で行うべきところであるため、プランには記載はしていない。

(D委員)

- ・ 高齢者は、難聴を認識しづらく、ストレスや困りごととしての回答は実態よりも低く出てしまう傾向がある。高齢者の社会参加において、聴こえの問題は、重要であり、難聴対策や、補聴器の支援策を記載することで、より踏み込んだ形でのプランとなるのではないか。

(A委員)

認知症施策の視点からも社会参加は重要である。認知症サポート医は、認知症への直接的な対応だけでなく、利用者に対する総合的な支援を目指しているものであり、そうした内容も含めてプランに記載していくことでより充実した内容になるのではないかと。

(C委員)

48ページの記載内容について、前回の協議会で国からの指示と説明は受けたが、やはり災害と感染症を一緒にして考えることに無理があるように思う。災害対策と感染症対策と分けて考えていった方が理解しやすいし、分かりやすくなるように感じる。次回以降、検討していただきたい。

(E委員)

このプランは、市の高齢者、介護保険事業の施策の方向性を伝えるための広報的な役割を果たすものだと考えているが、それにしても表現が難しく、一般の人がこのプランを読んで理解するのはなかなか困難のように感じる。もう少し、柔らかい表現に工夫できるところはしていった方がいいように思う。

在宅医療に際し、医師会と市とのこれまでの連携、活動内容等についても次回以降、記載を検討していただきたい。

(会長)

この案件については聞き置くこととする。

(2) はままつ友愛の高齢者プラン(案)のパブリック・コメントの実施について
(会長)

次に、「はままつ友愛の高齢者プラン(案)のパブリック・コメントの実施について」事務局から説明願いたい。

<事務局から資料2について説明。>

(会長)

ただいま事務局から説明があったが、ご意見、ご質問等があれば発言を願いたい。

(F委員)

パブリック・コメントとしていろいろな方からコメントいただくことを目的に『広報はままつ』や浜松市のLINEで周知を行う予定があるか確認したい。

(事務局)

広報には他の計画と併せて掲載を予定している。また同時期に部内で6計画のパブリック・コメントを実施予定であり、幅広く周知を行っていきたいと考えている。LINEでの周知については、現時点では予定していない。

(F委員)

提出方法については、オンラインやQRコードを活用した回答についても考えていただきたい。

(C委員)

前回のパブリック・コメント時の意見の数について教えていただきたい。

(事務局)

50件には満たない。(今回は17件)個人の方からの意見が多い。

(B委員)

回収方法について確認したい。配布先は複数あるが、回答先は高齢者福祉課のみなのか。配布資料の隣に回収BOXを設けるなどの方法をとることができないのか。

(事務局)

今回は、多くの計画がパブリック・コメントを実施予定であることも踏まえて、回収の段取りについては今一度、確認したい。

(A委員)

前回のパブリック・コメントに寄せられた内容のうち、採択されたものはどれくらいあるのか。

(事務局)

50件あったとして、単純な字の誤り等も含めて5件程度。

(A委員)

当協議会で出た意見などは、他の協議会の場で報告をしているものなのか。

(事務局)

厚生保健委員会等において、プランの策定過程で各委員会ではどのような意見が出たかなど質問される場合があり、報告を行っている。

(E委員)

パブリック・コメントで寄せられた意見の中で、数件を選んで公表していくもの

なのか。

(事務局)

すべて公表を行う予定である。

(D委員)

QRコード等も使用し、広く意見を募集するための工夫をしていただきたい。

(会長)

この案件については聞き置くこととする。

3 その他

(事務局)

会議録については、近日中に送付させていただくので、確認をお願いしたい。
次回の会議については、改めて調整をさせていただく予定。

4 閉会